

平成28年10月～12月期平均及び平成28年平均 労働力調査都道府県別結果（モデル推計値）の概要（広島県）

平成29年3月3日
統計課

※ 総務省統計局は、平成18年度から、労働力調査の都道府県別結果（モデル推計値）を公表しています。
この概要は、平成29年3月3日付けの公表を受け、広島県の結果についてとりまとめたものです。

[完全失業者・完全失業率]

- ・ 広島県の平成28年10月～12月期平均の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は2.5%と前年同期（2.8%）に比べ0.3ポイントの低下（図1参照）。都道府県別では低い方から22番目。
- ・ また、平成28年平均の完全失業率は2.8%と、前年（2.9%）に比べ0.1ポイントの低下。
- ・ 広島県の平成28年10月～12月期平均の完全失業者数は3万6千人と、前年同期（4万人）に比べ4千人（10.0%）の減少（図2参照）。
- ・ また、平成28年平均の完全失業者数は4万人と、前年（4万2千人）に比べ2千人（4.8%）の減少。

[就業者]

- ・ 広島県の平成28年10月～12月期平均の就業者数は140万6千人と、前年同期（140万人）に比べ6千人（0.4%）の増加（図3参照）。
- ・ また、平成28年平均の就業者数は139万6千人と、前年（138万8千人）に比べ8千人（0.6%）の増加。

